



スイッチ一つで明かりがつく、ボタン一つで飯が炊ける、クリック一つで知りたい情報が手に入る・・・私たちは便利な電化製品に囲まれ、快適な生活を送ることができています。電気のない世の中など、想像すらつきません。

ではその電気、自然界に無尽蔵にあるものでしょうか？答えははっきりしていませんね。電気は火力・水力・原子力など様々な自然の恵みを原料とする発電所で作られています。

わたしたちの生活をこんなにも便利にしている電気が、途絶えてしまったらどうなるでしょうか？そんな事態が起きないように、電力会社はピーク時の電力需要を予測し、それに見合う分の発電をしています。

これから暑さが厳しくなると、たくさんの方が同時にエアコンを使うなどして、電力需要のピークが高くなり、発電所はフル回転。環境への負荷は非常に大きくなります。

また、東日本大震災に伴う福島第一原発の事故の影響等により、安定した電力供給が見込めない中、一人ひとりが電力を使いすぎないように配慮し努力することで、電力需要のピークを下げる事ができれば、環境への負荷を小さく抑えることができます。

では、一体、私たちは1年間にどのくらいの電気を使っているのでしょうか。今回は市

Q どうして、発電量が増えると環境への負荷が大きくなるの？



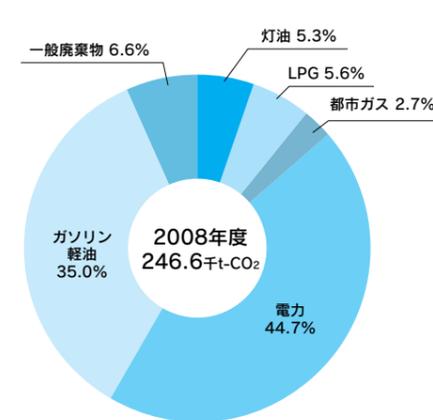
A 日本では発電量の約60%を火力発電所がまかっています。火力発電所を稼働させるには石油や石炭、液化天然ガス（LNG）などの化石燃料が必要です。これらは何千万年も時間をかけてできた地球の大切な資源で、子孫に残すべき財産です。

今、化石燃料は枯渇の危機に瀕しています。これは私たちの便利で豊かな生活を脅かすだけでなく、将来の世代の快適さを奪うことにもなるのです。

また、化石燃料を燃やすと二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスが発生します。温室効果ガスとは、地球を毛布のように包み、熱が逃げないようにする効果を持つ気体のことです。

温室効果ガスが増加すると、地球に必要以上に熱がたまり、これが「地球温暖化」です。地球温暖化によって海水温が上昇すると、極地の氷が融け、海面が上がり、島国が水没するなどの災害が発生します。近年、世界各地で起きている異常気象も地球温暖化が原因とも言われています。

■長浜市の家庭における温室効果ガス排出割合



内、県内、関西電力管内のそれぞれの家庭の電力使用量を調べてみました。

その結果、市内の平均使用電力が最も高いことがわかりました。家屋の大きさや住環境の違いなどから、一概に比較はできませんが、私たちにまだまだ家庭で節電する余裕があるのではないのでしょうか。

地域	平均使用電力
平成22年度中の各家庭の平均使用電力	
長浜市内	約6,600 kWh/世帯
滋賀県内	約6,000 kWh/世帯
関西電力管内	約5,100 kWh/世帯

※市内・県内の計算方法は、平均使用電力量÷使用電力/国勢調査の世帯数、関西電力管内は、家庭での総電力使用量を870万世帯で除した数値

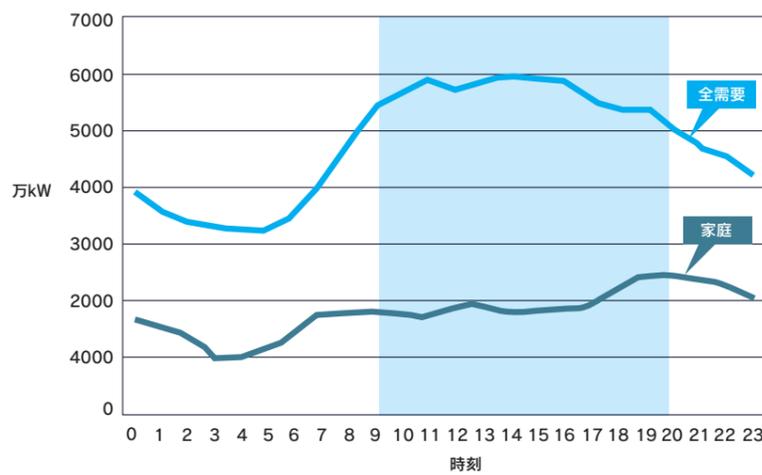
節電は「いっしょにがんばる」こと

夏季（7月～9月）の平日の9時から20時に取り組むのが効果的です。

平日は冷房需要が増え、1日の中では14時頃に家庭を含む全体の電力需要が最も大きくなります。

1日を通じた節電が必要ですが、家庭では特に13時から16時までの節電を心がけてください。

【夏季の1日の電力需要（最大需要発生日）】

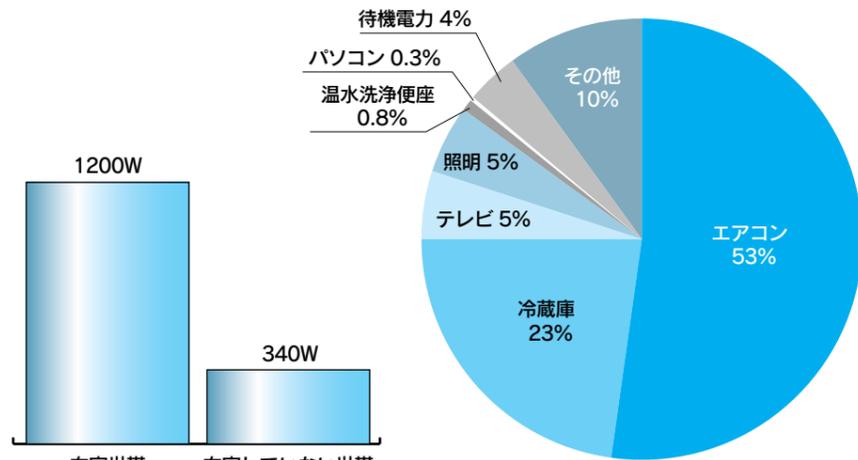


出典：資源エネルギー庁推計

夏の日の消費電力（全世帯平均）は？

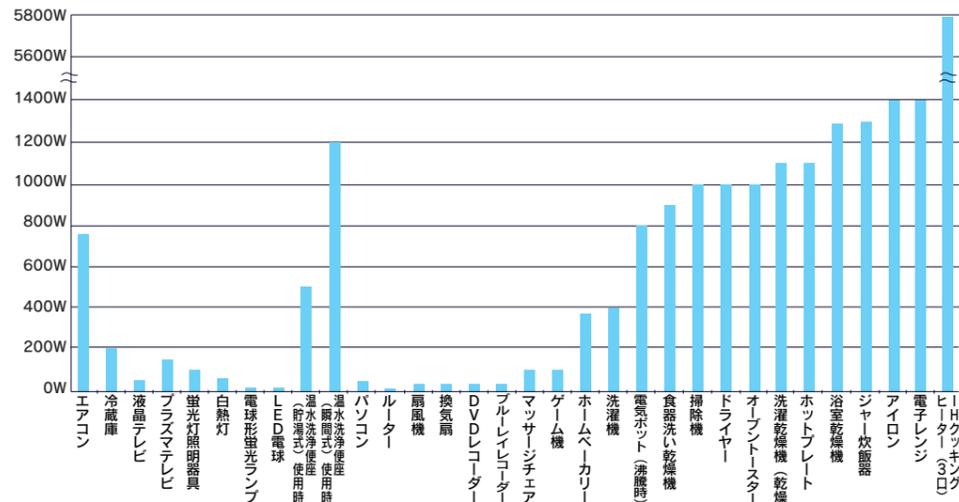
14時頃の在宅世帯では1時間あたり平均で約1,200Wの電力を消費しており、そのうちエアコンが約半分を占めています。

また、外出中の世帯でも冷蔵庫、温水洗浄便座、待機電力などで平均約340Wの電気を消費しています。



出典：資源エネルギー庁推計 ※数値は最大需要発生日を想定

【家庭で使用する主な電化製品の定格消費電力】



出典：資源エネルギー庁調べ
※これは定格消費電力の一例であり、実際の消費電力は、製品の種類、使用方法等により異なります。

どんな電化製品の消費電力が大きいのか？

家庭には1,000Wを上回る電化製品がたくさんあります。

消費電力の大きい電化製品は、平日の13時（16時）を避けて使いましょう。